# 旧佐川邸公園・小平市水と緑と公園課とのミーティング メモ

令和2年8月13日16時30分～17時30分

出席者：8名（敬称略）

佐川道場関係者：S

水と緑と公園課：佐藤、鹿島、山下

小平市議：佐藤、竹井、橋本（久）、安竹

記・安竹

旧佐川邸公園の整備費用が6,000万円と見積もられている件について、その内訳を出してもらうよう水と緑と公園課に依頼したところ、計算を担当した山下氏（用水担当の技術職・技師）に直接説明してもらうこととなりました。

## **整備費用6,000万円の内訳について**

**[担当課からの配布資料]** 『上水南町寄付公園概算工事費算出』

1-1. ざっくりしたプランに基づき、不明点が多いため金額を多めに計上している

* 予算の枠として捉える中で、ざっくりした金額で見積もりを立てている。2～3年前に作成した手書きの公園設計図をベースに算出（市が市民に提示している設計図よりざっくりした図面だった様子）。この算出に、鈴木町にこにこ公園の設計単価（備考欄に「鈴に：」として記載）に近い単価をかけて総額を見積った（単価がにこにこと比べて少し違うのは、主に計算しやすくするためで深い意味はない）
* にこにこ公園から推計できない部分が何点かあり、たとえば日本庭園の石を動かすなど、金額が見積れない部分がある。狭い道路に囲まれており、大型重機を乗り入れて石を動かすことは不可能に近いなど。見積もりを取らずに算出した部分もいくつかあり、概算金額として多めに計上している

1-2. 植栽について、高木は25本分計上。高木は無理だが低木は職員で植えられる

* 植栽の部分も、にこにこ公園と違う計算になる。にこにこ公園は大きな木（桜だったか）が４本残せた。また、植栽は基本的に職員で苗を植えたためその分は計上しなかった
* サクラやイロハモミジなどの高木は職員で植えることができないが、オタフクナンテンなどは、にこにこ公園のように職員で植えられる。ただし植えても枯れる可能性もある
* 植えるための作業費用は植栽の直接工事費と経費に含まれている
* 高木のサクラ、サルスベリ、イロハモミジは専門業者ではないと植えるのが難しい。ベニカナメモチも、外周に植える場合、支柱が必要になり、職員で植えるのは難しい。職員が植栽するならば低木という選択肢になってくる
* 東京都からの苗木無償提供については、欲しい苗木が提供リストに入っていれば使える
* 生垣は同じ種類の植栽で考えているが、全部同じでなくともよい
* 具体的な金額は、設計を固めて算出する必要がある。今回は、低木、高木という大きなくくりで算出しており、例えばサクラをケヤキにしても金額は大きくは変わらない
* 高木を植えなくてもよいという意見があれば、その部分の費用は再計算することになる

1-3. 土留めについて

* 資料では、土留めの費用は「目隠しフェンス設置」の費用に含まれている。にこにこ公園の単価プラス15,000円になっている分が土留めの分。プラスが15,000円の枠内に収まるか超えるかは、設計を詰めていかないと分からない
* 土留めは、目隠しフェンス設置部分には全部必要として計上している
* （土を盛って段差を埋めれば土留めは不要になるのでは？という質問に対して）土と搬入のコストの方が土留めよりも高くなるのではないか。搬入車道が狭いと入れるトラックのトン数が少なくなる可能性があり、搬入が大変になるかも。このあたりも設計を進めて煮詰まっていく流れの中で決めていく
* （鷹の台公園の土は使える？安くなる？という意見も）

1-4. 日本庭園について

* （先ほど大きな石の運搬が必要でコストがかかるという話があったが、解体工事の際に撤去したものもあるはずなので、動かせない、ということはないのでは？という質問に対して）大きな石を傷つけないように動かすには大型重機で釣ってセットすることも考える必要がある。解体の際は砕いて小さくすることも含めて雑に扱えるが
* 日本庭園の整備で計上している500万円は不明な部分が多い中で決めた金額。日本庭園に詳しくないため不明だが、石の置き方などのルールがあるのでは。今の形状をそのまま残すなら500万円は高い見積もりだと感じるが、石を動かすことを考えた場合は500万円は安いのではと感じている
* 安くするには、基本的にいじらないこと。現場はクマザサが生い茂っており一回取らないとどういう状況になっているかわからない。日本庭園をいじったら相当お金がかかってしまう。池があった部分に水を入れる予定はない（玉石を入れるなど）

1-5. 舗装について

* 「インターロッキング舗装」が76万8000円になっているが、7月27日の説明で300万円と言っていたのは、「コンクリート舗装」（24万円）も含めてと、経費が入っている（それでも(76+24)x2 = 200万円？）
* 「小舗石舗装」は小さい石が細かく並んでいるもので、高級感があるもの。図面でBの部分を想定
* 水はけのよいインターロッキングもある
* 想定は、通路がインターロッキング、東屋のまわりが小舗石、入口付近がコンクリート舗装
* 計算時は、にこにこ公園のような広場になるわけではないと考えていて、日本庭園に合うようなイメージで、インターロッキングを使った通路を考えた
* （インターロッキングや小舗石舗装をせず、草っぱらのような状態なら費用が下がるのかという質問に対して）維持管理を考えると、雑草やほこりが立ちにくいものでやっていきたい。小舗石はたしかに高価。インターロッキングにすることは可能。そのあたりは今後詰めていく必要がある
* 芝生ではなく雑芝生のようなものもあり、これは雑草を定期的に刈って芝生のような状態を保つもの。舗装より安いが、定期的に刈ることに費用がかかる。小舗石やインターロッキングなどであれば雑草は抑えられる
* 何もしないのはありかという質問だが、石ころが出ていることがあり、子供が遊ぶことを考えると、薄くでも表土をかぶせた方がよい。
* 縁石は土とインターロッキングの境目に設置するもの。形状が変わればこの辺りも変わってくる

1-6.経費について

* 経費は業者の間接費と利益に当たる金額で、積算基準で直接工事費に対する率が決まっている

1-7.積算方法

* 積算基準に記載されているものは、積算基準で計算する。積算基準にないもの、たとえば水飲み台、ベンチ、ファーゴラ、目隠しフェンス、メッシュフェンスなどは物価本があり、そこに記載されていればそれを積み上げる。経費については、公園整備の場合と道路整備の場合に、それぞれ積算基準で経費率が決まっている。
* 積算基準にも物価本にもないもの（日本庭園整備費）は業者の見積りをとって積算する

1-8.その他

* 南北と東側のフェンスはメッシュフェンスで計算
* 概算で道路工事が600万円、公園整備が5,700万円であり、6,000万円ではなく6,300万円を切り捨てて伝えていた部分があった
* 費用については、現地をもう少し確認しないと見えてこない部分がある。宅地との高低差をどう処理するかなども概算で出している
* プランを立てて、基本設計から詳細設計をしていかないと具体的な金額は出てこない
* 「パーゴラ設置」としているのは東屋。350万円という見積もりは比較的高価なもの。ピンからキリまである。屋根をつける場合は建築確認が必要になる。屋根をつけられないということではないが、時間的なことを考えると・・・
* 「床掘」は東屋の部分などを掘る作業。まだ詳細が決まっておらず数量が算出できないので、概算で100㎥を入れている。「整地」は全体をならす。「埋め戻し」は床掘りしたところを埋める金額。床掘と同じ体積に設定。
* 「敷地内配線」は照明用
* 「支柱工二脚鳥居」は25本の高木を支えるためのもの
* 「支柱工生垣支柱」は生垣の木を支えるためのもの
* 「給水管引込工」の値段がにこにこ公園より高めになっているのは特に理由はない。実際はどの位置に水飲み場を置くか（給水管の長さ）にもよる。道路部分がセットバックしており、その分給水管が伸びる分も入ってくる可能性もある
* 給水管を引くと排水設備も必要になるが見積もりに入っていない。それ以外も見積もりから漏れている可能性がある

1-9.にこにこ公園の情報公開請求で得られた資料について

* 一番費用がかかっているのは、ボールが外に飛ばないようにするネット
* 記載されている金額は市が立てた見積もりであり、落札の価格ではないが、概ね変わらず、96%～97％で落札だったと思う

## **説明を聞いた印象（安竹の個人的な見解）**

6,000万円というのは予算の枠として捉える中でのざっくりした見積もりであり、見直しの余地は大きいと感じました。新任の担当課としてもこの見積もりで固定したものとは考えていないようで、住民と協力して進める姿勢を感じました。日本庭園、植栽、土留め、フェンス、舗装、東屋、水飲み、ベンチなどについては、住民が意見を出し合って全体的な見直しを行える、むしろ住民主体で一つずつ検討するべき項目と思います。特に経費率は約91%であり、直工費の方でたとえば1,000万円下げられれば、全体で約2,000万円下げられることになります。今後につながる良い会だったと思います。

## **宿題**

* 今回の件に特化したものは特になし